

教員名	榊原 洋一 (SAKAKIHARA Yoichi)
所属	子ども発達教育研究センター
学位	医学博士
職名	教授
URL/E-mail	sakakihara.yoichi@ocha.ac.jp

◆研究キーワード

小児科学 / 小児神経学 / 発達障害

◆主要業績

- ・ Kubota M, Nagura M, Hirose H, Kimura I and Sakakihara Y. A magnetoencephalographic study of negative myoclonus in a patient with atypical benign partial epilepsy. *Seizure*, 14:28-32,2005.
- ・ Hirose H, Kubota M, Kimura I Yumoto M, Sakakihara Y. Increased right auditory cortex activity in absolute pitch possessors. *Neuroreport* 16:1775-1779, 2005
- ・ 榊原洋一 特別支援教育のためのアスペルガー症候群の医学 学研 2005

◆研究内容

研究の主要テーマは

- (1) 発達障害の臨床と脳科学的研究
- (2) 子どもの社会性発達の追跡調査
- (3) メディアの子どもの脳活動に及ぼす影響

の2つである。

(1) については、注意欠陥多動性障害の子どもの臨床の中から、本人の自尊感情の発達について観察を重ねている。自尊感情の発達の阻害が、ADHDの子どもの社会適応の阻害要因になっているという仮説の検証を目指している。(2)は科学技術振興機構のコホート調査であるが、乳幼児の神経観察によって、将来の社会性の発達を予測することのできる観察パッケージの開発を行っている。観察時の子どもの行動をすべてビデオに収め、その解析を予定している。

(3)は、乳幼児がテレビ画像を見たときの脳内活動。特に注意 (attention) について、多チャンネル脳波計による前頭部のガンマ波の測定を通じて解析している。

◆教育内容

アプリカの寄附講座を担当し、主に現職保育士、幼稚園教諭に対して、「子どもの病気とそのメカニズム」「乳幼児の発達と脳科学」2コマの講義を行ったが、各講座とも数名の学部生を受け入れている。

子どもの病気とそのメカニズムでは、医学部で行われている系統講義と同レベルの講義を行い、保育現場で遭遇する頻度の高い小児疾患について専門レベルの知識を持つことを目指した。

乳幼児の発達と脳科学では、近年の脳科学の最新のデータを提示し、乳幼児の神経発達についての深い理解が可能になるようにした。

また社会臨床論コースの大学院生に対し、発達障害概論の講義と関係文献の抄読を行った。

◆Research Pursuits

The main objectives of our research were as follow.

- (1) Clinical and scientific research on developmental disabilities
 - (2) Development of sociability in infants and children
 - (3) Neuroimaging study of media exposures in infants and children
- (1)It is postulated that stunted development of self-esteem in children with ADHD (attention deficit hyperactivity disorder) is responsible for the conduct disorder among them. We assessed this relationship in clinical setting.
- (2)In a prospective cohort study conducted in Osaka, we have developed a diagnostic package of neurological examinations for infants to predict the future development of developmental disabilities such as ADHD and autism.
- (3)Using multi-channel EEG (EGI), we studied the power spectra of gamma oscillation in infant to quantitatively measure the degree of attention to visual stimuli.

◆受験生等へのメッセージ

私の担当講座は、アプリカによる寄附講座で、主な対象者は、現職保育士、幼稚園教諭ですが、2005年度以降入学の学部学生の方も受講できます。

小児医学、脳科学、障害児保育学、世界の保育事情、絵本、おもちゃ、メディア学など、子どもの発達と育児に関する最新の知識を得ることができます。

学部学生の方々の受講をお待ちしております。